

住之江地区
保護司会報

第68号

人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク

第70回

社会を明るくする運動

** 犯罪や非行を防止し、立ち直りを
支える地域のチカラ **コロナ禍の中、今年度の保護司会活動
社会を明るくする運動
七十周年に寄せて

住之江地区保護司会

会長 長田 幹雄



平素は住之江地区保護司会の活動について、大阪保護観察所、住之江区役所、大阪府住之江警察署、区内小中学校、及び地域振興会、区協力雇用主会、区更生保護女性会等関係諸団体の皆さまには、活動のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また仲間である保護司の皆さまには、対象者の更生支援、犯罪予防活動に日夜尽力努力されておられることに、敬意と感謝を申し上げます。

さて本年は、残念なことに早春来コロナ感染症が蔓延し、感染防止対策の為あらゆる行事・催しが中止延期縮小を余儀なくされました。地区保護司会の総会が書面による表決に変更、定例研修の自習、新任保護司への研修も自習となりました。また非常に悲しく惜しいことに保護司会員が二名もお亡くなりになりました。

社会を明るくする運動が実施されて七十周年を迎えた今年、七月十一日に区ホールで予定をしていた「社会を明るくする運動住之江区大会」の催しも中止となりました。毎年恒例の小学5年生6年生、全中学生への標語や作文募集の要請も、優秀作品の表彰式も実施できず残念でなりません。せっかくの節目の年に少しなりともと考え、小中学生に啓発文書を配付いたしました。又、区内のガソリンスタンド十店舗に啓発ポスターの掲示を要請し協力を賜りました。街頭啓発活動は十月に、ようやく実施できました。

更生保護活動は、関係者のためまぬ努力により、そのネットワークを広げながら、安全・安心な地域社会づくりに貢献してきました。昭和二十四年に犯罪予防更生法が施行。平成二十年には更生保護法が施行。平成二十八年には再犯の防止等の推進に関する法律が施行。同法に基づき平成二十九年には再犯防止推進計画が策定されました。

更に、国、地方公共団体、民間が一体となり、犯罪や非行をした人々を地域で孤立させることなく、再び自然に受け入れることができる社会を作り上げて、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けた取り組みや諸施策実施により、明るい社会づくりに期待が益々高まっています。

社会には様々な課題を抱えている人々が多数存在しており、更生

保護制度の枠組みから、保護司に求められる役割がますます高まっていることのあらわれです。

住之江地区保護司会では、再犯防止の要の一つである「就労支援」について、平成二十九年度に設立された住之江区協力雇用主会と連携を図ってきました。もう一つの再犯防止の要である「住居の確保」にも繋がり、期待がされます。近年、刑法犯の認知件数が減少傾向にある中、再犯者・再非行者の割合も高いとされています。住之江地区保護司会は、薬物乱用防止教室に注力し、区内の中学校や小学校(5中1小)で毎年実施しています。若年層に、薬物の恐ろしさを大いに啓蒙することが肝要です。

住之江地区保護司会の重要年間活動として、保護司・中学校との連携強化研修会を、毎年実施しています。今年は十一月十一日に区民ホールで、例年と異なる内容で、学校長・生徒指導担当教諭、住之江区長、住之江警察署長、市教育委員会中学校教育担当、区更生保護女性会の方々に参加を賜り、情報交換を致しました。新任の末村区長さまには、大変好評を頂戴しました。

住之江地区保護司会は、充足率確保、保護司人材の安定的確保という喫緊の課題を抱えておりますが、今後も引き続き崇高な意識を持って更生保護制度を担って参りたく存じます。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶

住之江区

区長 末村 祐子



「住之江地区保護司会報」が発行されますことを心からお慶び申し上げます。

平素は長田会長をはじめ住之江地区保護司会の皆様には、「社会を明るくする運動」や、「学校との連携活動」等の犯罪予防活動に多大なるご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

この四月に住之江区長に就任しました末村祐子です。行事等に伺う機会が少ない状況でございますので、書面にて改めてご挨拶申し上げます。

現在、区民の皆様の生活に影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症については、住之江区といたしましても感染の拡大防止に全力で取り組んでいるところであります。予定していた活動の中止や延期など、皆様には大変なご負担をおかけしていることと存じますが、感染から皆様を守ることが第一ですので、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症に伴う「新しい生活様式」への対応から、人との接触を減らすための取り組みとして、社会の様々な分野でのデジタル化やテレワークなどICTの活用が急速に進んでいます。

ICTの活用は、多様性・利便性が向上する一方で、子どものインターネット利用が増え、意図せず加害者となる事例も少なくありません。そういった危険を避けるためにはインターネットを適切に使いこなす能力を身に付け、トラブルを回避しながら正しく利用する必要があります。悪ふざけや冗談のつもりでとった安易な行為が犯罪につながるケースもあります。

こうした中、犯罪や非行の予防を目的とした保護司・中学校との連携強化研修会等の取り組みは、安全で安心な社会を実現する上で誠に意義深いものであり、心からの敬意と感謝を申し上げます。

住之江区といたしましても、住之江地区保護司会の皆様をはじめ、区民の皆様と行政が理解や信頼を深め、協力しやすい環境整備を大事に、今以上に「ありがたい」の声があふれるまちをめざして、力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、住之江地区保護司会の今後ますますのご発展と、皆様のご健勝・ご活躍を心より祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

大阪府住之江警察署

署長 中島 新吾



住之江地区保護司会の皆様におかれましては、地域の安全、浄化活動にご尽力され、心より感謝申し上げます。また、犯罪予防のための啓発活動にも深いご理解とご協力をいただき、重ねて御礼を申し上げます。

さて本年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、住之江警察署と各関係機関・団体と例年開催していた防犯活動や交通安全運動キャンペーン、会合等の諸行事を全て自粛したため、保護司の皆様とも接することなく、お話しする機会もほとんどなかったと思います。

コロナ禍を理由にする訳ではございませんが、私から本会報をお借りしまして、最近における犯罪情勢や交通情勢について、少しご紹介させて頂こうと思います。

まず、当署管内における犯罪情勢ですが、刑法犯認知件数を過去5年間の統計と比較してみますと、平成27年で、2,469件であったのが、昨年は、1,408件で約1,000件減少しております。

ます。平成20年当時は、55件発生していたひつたりについて、昨年は、4件と一桁台にまで減少しております。

ただ、自動車盗や車内の金品や積載物を盗む車上ねらい、ナンバープレート等の車に取り付けられている部品・付属品を盗む部品ねらい、これらを総称して自動車関連犯罪と呼んでおりますが、これらの認知件数は、減少することなくほぼ横ばい状況が続いております。

また、皆様ご承知の特殊詐欺であります。昨年の認知件数は、22件で、被害総額も約3千万円でありました。本年の被害額も既に2千万円を超えており、日々騙されないようにと注意喚起しているところではあります。被害に遭う高齢者は後を絶たず、まだまだ予断を許さない状況でございます。

次に交通情勢についてです。大阪府下では、交通事故発生件数は、年々減少傾向にある中、当署管内においても、昨年473件の人身事故が発生し、一昨年よりやや減少しております。

事故の特徴として、当署管内は、物流の主要地区でもある関係上、大型トレーラーやトラック等の貨物車が関連する事故が件数全体の約4割を占めていることと、高齢者が関係する事故が府下での平均値を若干上回っていることです。それが、死亡事故や重傷事故に繋がっている状況からして、高齢者の交通安全に関する対策をより一層強化していかなければなりません。

ません。
住之江警察署では、署員一丸となって、犯罪の予防・検挙活動、交通事故抑止対策等に取り組んでおりますが、我々警察の力だけでは限界もあり、今後とも皆様方との緊密な連携、お力添えをお願いするところでございます。
末筆となりましたが、住之江区保護司会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。

啐啄同時

大阪保護観察所

所長 鈴木 庄市



住之江地区保護司会の皆様は、日頃から更生保護に対して格別なる御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年を顧みますと、今年は新型コロナウイルス感染症のまん延により、社会全体が未曾有の危機に直面した年であったと思います。特に、東京オリンピック・パラリンピックの延期は内外の人々に大きな衝撃を与えました。

最近、新聞の投稿記事の中で印象に残った記事がありました。投稿者は元高校球児であり、次のような内容でした。ある地方大会で外野を準備していたところ、最終回に相手チームにヒットを打たれます。打球が頭上を超えた瞬間、負けを確信しますが、転がって行くボールを必死で追いかけて、涙に霞む目でホーム側を振り返った時、同じく目に涙を浮かべた仲間が送球を待っていてくれた、という内容でした。投稿者は「心が挫けそうになっても最後まで走り続けることができたのは、自分の送球を待っていてくれた仲間のお陰であり、この小さな体験から大切なものを学んだ。」と結んでおられました。

啐啄同時（そつたくどうじ）という言葉があります。語義は、鳥の雛が卵から生まれ出ようとすると、雛が殻の中から卵の殻をつつき、親鳥も同様に外から卵の殻をつつき、それが同時に行われて雛は卵の殻を破って誕生することができるといいます。更生保護の営みにおいても、立ち直ろうとする人と、その立ち直りを支える人、この両者が同じ目線で向かい合い、共に力を合わせることで固い殻を破ることができるのではないのでしょうか。昨今では感染症の拡大に伴い、対人接触の在り方が根本的に問われる事態に直面しています。人が人として生育する過程において啐啄同時の関係性の意義は時の今昔を問わず、些

かも色褪せるものではないと思えたりません。
まもなく新年を迎えますが、これから愚直に更生保護活動に取り組んで参りますので、倍旧の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶

大阪保護観察所
統括保護観察官

枡井 督也



住之江区保護司会の皆様には、平素より更生保護の諸活動に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の発生により、感染症防止対策とともに、新しい生活様式が示されました。

それに合わせ、更生保護の諸活動においても、保護司の皆様方にいろいろお願いをすることになり、その度に対応してくださったことについて、本当に感謝しております。

これまで私は、少年院、少年鑑

別所、拘置所、刑務所といった矯正施設で処遇に関わってきました。この春から大阪保護観察所で勤務することになりましたが、これまで見えなかった、保護司の皆様がどのように対象者と向き合っているのか、を見ることができています。

コロナ禍の中、直接会って面談ができないことに、「どうしたらいいんや。」という言葉を送りました。人と会うこと自体を避ける風潮の中、「まず会って、顔見て話さな始まらん。」という言葉を送った時に、胸が熱くなりました。

便利な世の中になりました、携帯電話があれば大抵の事ができてしまいます。簡単な要件ならメールで事足ります。顔が見たいのであれば、テレビ電話機能があります。でも、目線の動きの細かいところ、息遣いなどは、実際に会ってみないとわかりません。会って話してこそ、細かな変化に気付くことができます。そういった実感から、先ほどの言葉が出てくるのだと思います。

生きていくだけなら、部屋に閉じこもっていても、できるのかもしれない。でも、人間は誰かと関わって生きていくものです。その関わりが始まりは、「会って、話す。」だということ。それは、これまでずっと続いてきたことで、これからも変わらないものであると思います。

刻々と世界が変わっていく中、

人と人の関わりを大事にしなから、安心して暮らしていける地域社会のため、努力してまいりたいと思います。住之江地区の皆様方の御活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

ご挨拶

大阪保護観察所

保護観察官 田中健一



住之江地区保護司会の皆様方は、日頃の更生保護行政への多大なるご尽力・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

住之江地区保護司会報第68号の発刊についても誠にありがとうございます。

令和二年の四月に処遇第2グループ住之江地区担当を命ぜられ着任しましたが、コロナ禍の影響から、例年であれば四・五月に開催される保護司会地区総会の場合で保護司の皆様と初対面で交わす挨拶であるはずのところ、今年度は何と、11月に入っております。このような事態を経験したことは、お互いに初めてのことだったでし

よう。

正に今、人類がコロナウィルスと闘っている時にも、保護観察事件・生活環境調整事件の指名を主任官からの指名連絡で受けもってくださっている状況には、感謝だけでなく、私自身が職場へ通勤する・対象者へ会いに自宅を訪問するといった動きそのものへも勇気を頂戴していることに気づかされました。

住之江地区更生保護サポートセンターへ初めて訪れたときにも、長田会長から大きな声でエールを頂きましたので、それから保護司の皆様と電話でお話させてもらえた時には、会長を真似させていただくような形で、エールを注ぎ続けていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

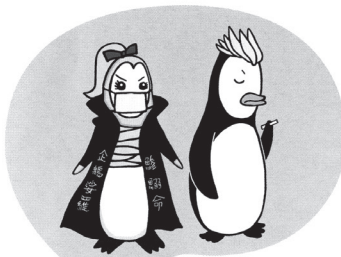
何より、大阪保護観察所勤務の初めての担当地区となりますが、先日開催された、住之江区内中学校との連携強化研修会での保護司会全体の熱意を感じ取れました。住之江地区保護司会におかれましては、今後も更生保護の諸施策に何かとお力添えをいただければ幸いです。住之江地区保護司会の益々のご発展と住之江地区保護司会の保護司の皆様のご健勝を祈念しております。



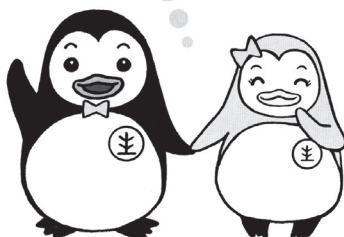
ホゴちゃんと
サラちゃんの

更生ものがたり

昔のボクたちは、
悪いことばかりする



非行ペンギンでした。



更生ペンギンのホゴちゃんとサラちゃん



更生保護女性会

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体です。



更生保護施設

刑務所等を出た後、帰る場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた生活指導を行う民間の施設です。



協力雇用主

犯罪・非行歴のため仕事に就くことが難しい人たちの、その事情を理解した上で雇用し、立ち直りを支援する事業者です。

ご存じですか？

立ち直りを支える地域のチカラ。

犯罪や非行からの立ち直しには、本人の努力はもちろんですが、地域の中に「居場所」があることが大きな後押しになります。あなたの地域でも、国と、ボランティアなど様々な立場の人々が、チカラを合わせて立ち直りを支えています。

保護司

犯罪や非行をして「保護観察」を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談に乗ったり、指導をしています。犯罪を予防するための地域活動などにも取り組んでいます。



立ち直りました！

更生ペンギンです！



BBS会

さまざまな問題を抱える少年と、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年の成長を助ける青年ボランティア団体です。



あなたも、

できることから始めませんか？

立ち直ろうとする人を受け入れ、支える方法は様々です。犯罪や非行から立ち直ろうとする人に、あなたなら何が出来るかを考え、できることから一緒に始めてみませんか？

社会を明るくする運動に代わる活動

☆区内小・中学校へ啓発物品を贈呈！

☆区内ガソリンスタンドへ啓発ポスター掲示!! (広報部)

啓発物品を贈呈



加賀屋中学校



住吉川小学校

区内のガソリンスタンド



加賀屋東小学校



第70回
社会を明るくする運動
街頭啓発活動



社会を明るくする運動



敷津浦分会

安立分会



加賀屋東、住吉川分会



住之江分会



加賀屋分会



粉浜分会



平林分会



新北島分会



第12回真住中学校薬物乱用 防止教室(2年生)を受講して (真住中学校)

校長 山口 博 功

11月13日(金)第5・6
時限に体育館で、コロナ
感染症対策のもと「薬物
乱用防止教室」を実施し
ていただきました。住之
江区でご活躍の保護司の
方々(大阪府薬物乱用防
止指導員もされている)
から、薬物の危険性につ
いてお話を聞きました。
DVDと冊子を使つての
講習、キャッチボールを
して相手を思いやる気持
ち、ロールプレイで生徒
たちが友達や先輩、街頭
で知らない人から薬物使
用を誘われ、それを断る
言葉の掛け合いで素晴ら
しい体験ができました。
薬物乱用は「ダメ。ゼ
ッタイ」と断る勇気が持
てました。とてもインパ
クトのある学習会でした。

生徒たちへの事後アン
ケート回答には、「薬物乱
用が身近にあることを
学んだ」、「これ以上
薬物乱用が増えないよ
うにこの活動を続け
て下さい」等多数の感
想がありました。
ご指導ありがとうございました。



ロールプレイ



— 生徒の感想 —

(Aさん)

薬物は危険だと言うことは前から知っていたが今回の薬物乱用防止教室の授業を受けてもっと薬物の怖さを知った

(Bさん)

乱用薬物には色々な種類があることがわかりました。薬物は一回くらいという軽い気持ちでやらないように気をつけようと思いました。これ以上薬物乱用する人が増えないようにこの活動を続けて下さい。

(Cさん)

薬物の本当の怖さを知らなかったけど今回の薬物乱用防止教室で怖さをさらに知りました。自分にも起こりうるかも知れないという事がわかりました。今回このような学習ができて良かったです。

真住中学校「薬物乱用防止教室」(R2.11.13)事後アンケート

薬物乱用防止教室の内容について、わかりやすかったですか?

薬物乱用は、心も体も壊してしまいます。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」を忘れずに、自分を大切にしてください。

今後の開催の参考にしますので、アンケートにお答えください。

(1) あなたが、印象に残ったのは? ○をつけてください(複数回答可)。

1. DVD「薬物乱用から自分を守る」
2. 保護司の説明
3. ロールプレイ(断り方3種類)
4. 配付したパンフレット等資料
5. 薬物標本
6. その他 ()

(2) あなたは、今日の「薬物乱用防止教室」の内容を、理解できましたか。
一つだけ選んで○をつけてください。

1. よく理解できた。
2. まあまあ理解できた。
3. あまり理解できなかった。
4. その他 ()

(3) あなたは、「薬物乱用」について、どのように思いましたか。
一つだけ選んで○をつけてください。

1. 身近に起こりうる、実感がわいた。
2. 身近にあることなのだろうが、実感がわかない。
3. 自分にはまったく関係がない話のように思った。
4. その他 ()

(4) あなたの感想

(5) 2 年 組 無記名

誘いを受けて

平林分会

野田 弘明

新任保護司としては、私も子を持つ親であり、五二歳になりましたので何か社会に貢献することについて考えていました。

そのタイミングで、このお話が私の耳に入ってきました！

なので心良く引き受けさせて頂きました。私なりに、できる範囲で尽力して参りますのでよろしくお願いいたします。

「はなむけ」の御礼

安立分会

大津 隼男



住之江区保護司会と安立分会の皆様！大変お世話になり有難うございました。
卒業と言ってもこの年齢ですか

ら感慨はないと、タカをくつていたが、凡人の性（さが）は争えず、たちまち「はなむけ」のご厚情を喜んだものでした。

「はなむけ」は、古の時代、旅の出発に、別れの宴を催し、行くべき方向に乗る馬の鼻を向けてやったことに由来するそうです。更には、詩歌も贈ったそうです。

丁度そのころ、安立分会の若い保護司、中野光典氏、南場結氏の両氏から、相次いで「保護司の活動を始めてみて、こんなに奥が深いんですね」「社会的に重要な仕事ですね」との感想を伺いました。これは、実に快なり！心中、喝采！の気分が高鳴りました。

誠に、若い方々を迎え、後事を託す、そして感想の言葉を聞かせてくれる、これ以上の「はなむけ」の冥利に尽きるものは無い、有難いことです。

金一封はすぐに姿が見えなくなつたが、花束は長くわが陋屋を香しく包んでくれ、若い保護司の言葉は、私達の地域と住之江保護司会の将来を確かなものにしてくれそう、嬉しい限りです。

さて、これからの私は、人と人の絆が活きる安心・安全のまちの為に、相変わらず安立連合地域の事や住吉祭り神輿渡御のお手伝いに、皆様の足手間といにならぬよう気を付けながら、取組みたいと考えています。

「はなむけ」の御礼として、詩歌に託して心境を申しますと、「わが姿、たとえ翁（おきな）と

見ゆれども、心は花の真つ盛り」のように生きたいなあ・・・と願っているところです。
お蔭様で、いい日、いい旅立ちが出来ました。

感謝！ 合掌！

伝えること・

知ること

大阪市立北粉浜小学校

校長 田崎 正幸



住之江地区保護司会の皆様には、平素より子どもたちの健全育成、非行防止にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。お蔭をもちまして、本校児童も心健やかに育つてくれています。私は住之江区で生まれ、48年間住んでいます。私を成長させてくれた住之江区の小学校に赴任できたことを大変うれしく思い、改めて校長として尽力する所存です

大阪市の小学校では、5月に「いじめについて考える日」を設けており、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいます。本校では、朝校長から子どもたちへいじめについての講話を行い、その話を受けて、各学級で発達段階に応じた話をします。私は、子どもたちに「相手のことを『知るこ

と』、そして、自分のことを『伝えること』でいじめは防ぐことができる。または、早く解決することができると話をしています。

身近な例を挙げて次のように話をしました。名前を呼んでも反応してもらえなかったとき「無視された！」と怒るのではなく、「相手はひよつとしたら考え事をしていて聞こえなかったのかもしれない」など、確かめることが大切です。あだ名は、呼ばれてうれしい人もいれば、呼ばれて嫌な気持ちになる人もいます。もし、自分が言われて嫌だったら、それを相手に伝えるようにしましょう。相手が嫌だと知ったら、そのあだ名では呼ばないようにしましょう。友だちと何かトラブルがあった時、感情的になつて相手を責めるのではなく、いったん落ち着いて事情を確かめることが早く解決するために大切です。

「伝えること・知ること」は単純な表現ですが、大人の世界でも十分通用すると考えます。自分や相手のことを思いやりながら、めごとやいじめを乗り越えていく子どもの頃からの積み重ねが、大人になつて犯罪や非行を克服できる力につながっていくものと信じています。

保護司会の方々を始め、地域・保護者の皆様のさらなるご理解・ご協力を賜りますとともに、よりよい学校づくりを努めてまいります。ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

雇用主会 引受人挑戦

住之江地区雇用主会

会長 平川 司



11月になっても、コロナは収まらない。今日もコロナは私達の周りに猛威を振るい、人の行動までも容赦なく制限してくる。

あらゆる会合は次から次にと中止になり、親しい仲間にも会うことも出来ないありさまである。入院している友人に見舞いにも行けない今日この頃であります。

このような中、今年雇用主会へ次のような事例がありました。

協力雇用主会会長宛て、引受人の要請

令和2年2月午後、統括保護観察官（退職されたので前統括保護観察官）の依頼で刑務所に出向き、該当する入所者（以下、対象者）と面接に同席をした。突然の話である。何も聞かされていない私にとっては頭のコンピュータが作動しない。

要件をまとめるとこうなる。引受人がいない対象者を住之江地区協力雇用主会（以下、雇用主会）

で面倒を見て頂けないかとの事である。無論、私個人に要請があったのだが、過去44年間も保護司をした現雇用主会会長に引受人の打診をされたのである。

前向きに検討をしました。が、対象者は女性で、私の会社は男所帯で、配管工事業なので雇えない。住まいの準備には改装費用が必要である。

前統括保護観察官は、保護司さんが担当する対象者の引受は核家族の時代に入り様相が変化したと。家族・親族・協力雇用主・知人・引受人のいない対象者には更生保護施設が引受ける。但し施設によって様々である。対象者にとって決して故郷ではない。施設では仲間との不和もあるようである。

そこで前統括保護観察官は、各地に協力雇用主会ができたのをきっかけに、この組織を活用し、住まいの斡旋・家族間等のトラブルの防止・就職までの世話（雇用主会が関与し福祉への協力要請）・保護司への協力体制等、期待をしたのであろう。

又私は対象者が帰住してこれたら困らないように、知り合いの家主さんへ部屋を借りる段取りをしました。

*家主さんから私への連絡内容
「お問い合わせ有難うございます。家具付きですので直ぐに入居していただけます。ご検討、宜しくお願い致します。家具が必要ない場合は撤去致します。保証人は

必要です。いらつしやらない場合は保証金として2か月分お支払い頂きます。」

*実に優しい家主さんです。

雇用主会なら、就労支援・生活支援の課題が一気に解決する糸口を期待できると考えられたのであろう。なお今年2月に面接をして、まだ引受人の決定が調整中らしい。

保護司さんから求人照会

T保護司さんから手紙が届いた。

「いつもお世話になります。私が保護観察を担当していました対象者の引受人（雇用主）から求人の依頼がきましたので、働きたい希望者がいれば紹介いたします。」T保護司宛て礼状を返信しました。

保護司さんと雇用主会との就労支援ネットワークづくりになればと思います。

雇用主会の役割*

1. 保護対象者の就職・斡旋事業
2. 国の空家対策に各省庁絡み、保護観察対象者の住まいの確保
3. 対象者が仕事に定着する間の生活保護

4. 協力雇用主への協力要請
5. 犯罪予備軍への就職協力要請等

雇用主会は以上の事を遵守し頑張っています。

さらに、雇用主会は、帰る住まいのない対象者の身元引受人に挑戦します。

保護司の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

再犯防止を支える協力雇用主

犯罪や非行をした人たち（刑務所出所者等）は、再び地域に帰ってきます。

これらの人たちが再犯や再非行に至らないためには、仕事に就き、職場に定着して、責任ある社会生活を送ることが重要です。

一方で、保護観察終了者のうち無職者の再犯率は有職者の約3倍で、刑務所再入所者の約7割は再犯時に無職です。刑務所出所者等への就労支援を効果的に実施し、再犯や再非行を防止するためには、協力雇用主の方々の存在が不可欠です。

コロナに負けず
「自主研修」

南港分会

黒田 正信

今年はコロナの影響で、南港北中学校での「薬物乱用防止教室」「社会を明るくする運動」における街頭啓発等の変更を余儀なくされました。

その中でも南港分会自主研修は全員が集まり研修と親睦を図る唯一の機会でしたが、いつもの会場も無くなり新年になれば出来るかな?と想って来しました。

「中学校との連携強化研修会」で南港分会全員の参加が分かり急遽自主研修を行いました。毎年お願いしている講師の片平氏に了解を貰い実行の運びとなり、今年自習となった第2期、第3期定期研修の資料を基に教科書を作成して区役所まで来ていただきました。

コロナ禍の中の生活環境調整及び、面接の注意事項を具体的に説明していただき、質疑応答後研修を終わりました。

自主研修に参加して下さった皆様ありがとうございました。



大阪更生保護大会 (10月29日)



中学校との連携強化研修会 (11月11日)

参加校 (8校)

- ① 住吉第一中学校
- ② 加賀屋中学校
- ③ 住之江中学校
- ④ 新北島中学校
- ⑤ 南港北中学校
- ⑥ 南港南中学校
- ⑦ 真住中学校
- ⑧ 水都国際中学校



令和2年度大阪更生保護大会 住之江地区表彰者

法務大臣表彰 森嶋 寛 (加賀屋)

全国保護司連盟理事長表彰

上野 和子 (敷津浦)

平賀 博希 (新北島)

森 茂廣 (南港)

近畿地方更生保護委員会委員長表彰

地本 公紀 (敷津浦)

近畿地方保護司連盟会長表彰

越智 俊夫 (加賀屋東)

佐野 悦子 (平林)

近畿地方保護司連盟会長感謝状(家族功劳)

東山 豊久 (南港)

大阪府知事感謝状 高見 保則 (南港)

大阪保護観察所長表彰(功劳)

加藤三和子 (住之江)

高橋真理子 (加賀屋)

東 茂生 (粉浜)

林 高伸 (加賀屋)

大阪保護観察所長表彰(永年)

長田 幹雄 (住之江)

久保 隆 (南港)

黒田 正信 (南港)



編集後記

二〇二〇年は新型コロナウイルス感染症という想定もしていなかった状態が始まり、今この時期も感染拡大が収まらない状況が続いている中、地域内で例年行なわれていた諸活動、行事も殆どが自粛せざるを得ない状況になりました。

住之江地区保護司会活動も同様、自粛要請に応じた活動を余儀なくされました。そんな中での保護司会報作成にあたり、広報部としても掲載内容につきまして少し物足りなさを感じている次第です。

来年度はコロナ感染も収束に向かい、活発に地域と連携して活動出来るのを楽しみにしています。

最後に会報作成にあたり保護司会、関係各位の皆様方にご協力賜り心から感謝申し上げます。

広報部長 森本誠治

【敬弔】

富田みとせ様 八月二十七日 逝去
福永 政治様 九月十七日 逝去

謹んでお悔やみ申し上げます

森竹 節夫

平成 八年五月～令和二年五月

お疲れさまでございました

松岡 美治 (名誉会員)

平成一六年九月～令和二年九月

加藤 雅男 (名誉会員)

平成十二年九月～令和二年九月

大津 隼男 (名誉会員)

平成十八年五月～令和二年五月

【退任保護司】(順不同)

野田 弘明 (令和2年5月25日付)

よろしくお願ひします

【新任保護司】

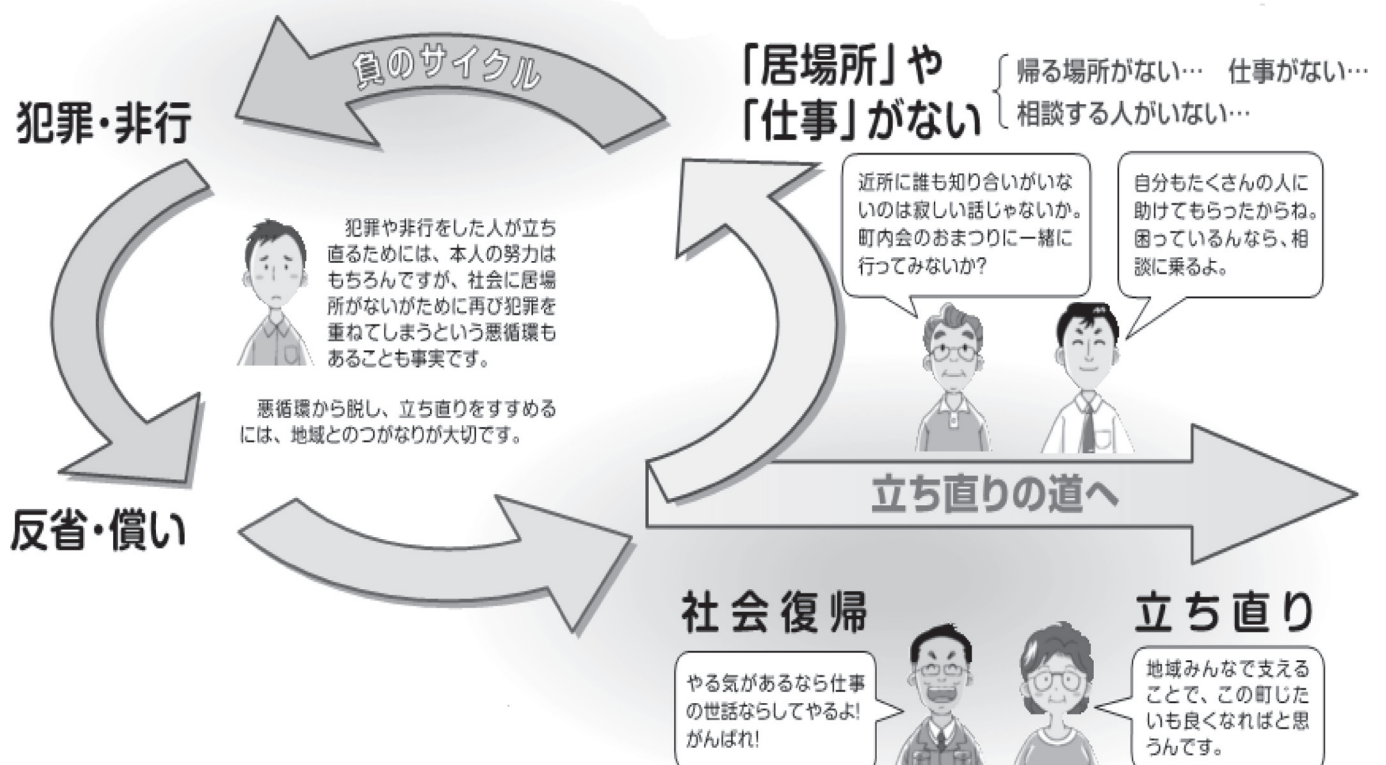
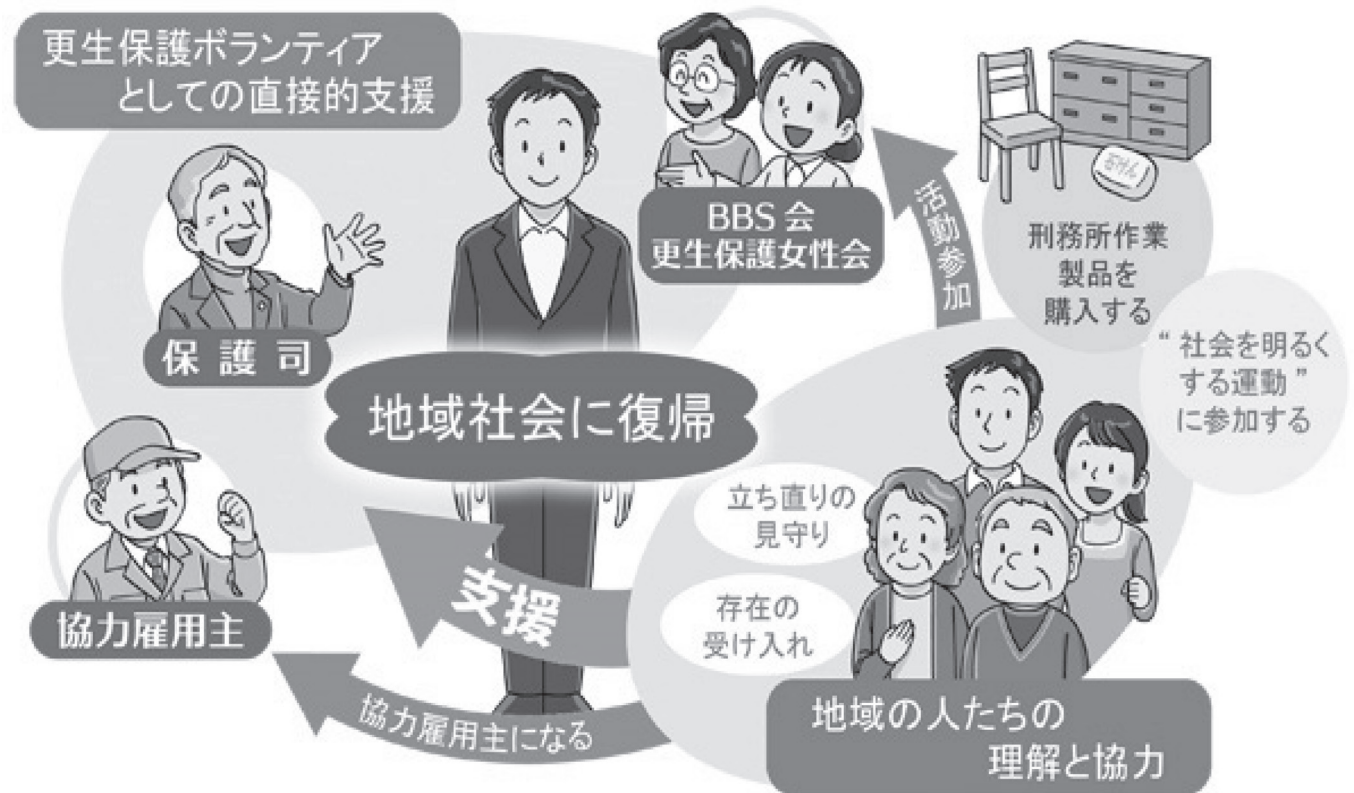
住之江地区サポートセンターの使用について

住之江地区更生保護サポートセンター(以下「サポートセンター」という。)は、住之江地区保護司会の活動拠点として機能を果たすため、また会員が活動する場合の利便性を高めるべく設置されました。

従って会員は、サポートセンターを訪問し、会議室等を使用することができます。ただし会員は、一定のルールを順守し使用することが求められます。

なお、急用等で、事務員や当番の企画調整保護司が不在になることがあります。事前の在室確認をお願いいたします。

〒559-0017 住之江区中加賀屋2-6-15 ストークマンション住之江202号
TEL/FAX 06-7162-5458 Email: suminoe-sc@air.zaq.jp



住之江区更生保護女性会



更女だより

No.49

元気をいただいて

住之江区更生保護女性会 会長 川瀬 恵子

師走を迎え何かとお忙しいことと存じます。

会員の皆様には平素よりご支援賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年度はコロナ禍の影響により集会もできず、書面での表決をお願いするという初めての形式での総会となりました。皆様のご承認をいただき、諸活動をすすめて参るつもりでしたが、事態がこのように長びくとは思っていませんでした。

4月初旬、2年度ブロック研修モデル地区発表に向けてプロジェクトチームで原稿整理を進めていた矢先、緊急事態宣言が発出された。集まることもままならず、収まるのをひたすら待つ状態でした。自粛の日々がいつまで続くのかという先の見えない不安が大きかったと思います。

区民まつり、社明大会および、地区でのイベント行事も中止となりましたが、今年度は「社会を明

るくする運動70回」を記念し区内小学校5、6年生と中学校に、社明クリアファイル、鉛筆、消しゴムのセット、リーフレットを長田保護司会長と共に届けさせていただきました。

大阪更生保護女性連盟行事も、更生保護茶会、会員研修、大阪更生保護女性のつどい等、令和3年1月迄の行事が中止となり、第4ブロック研修も次年度に繰り延べとなりました。

そのような中でも6月よりの授業再開により小学校下の見まもり活動で、子ども達の元気な姿に会えた時は本当に感激しました。

いつも子ども達から元気をいただいていた事にも気づかされました。

私たちの暮らしも様変わりし、コロナ禍もまだまだ終息とは言えませんが、一日も早く以前のよう

おります。
今後ともご支援よろしくお願ひ申し上げます。



大阪保護観察所長

感謝状をいただいて

加賀屋東地区

鎌田 和子

令和二年十月二十九日豊中市立文化芸術センターにおいて、「大阪更生保護大会」が盛大に開催される予定でしたが、コロナ禍で連盟会長と、「大阪保護観察所長感謝状」受彰代表者三名のみの出席となりました。

コロナ禍で、半年以上、保護活動が中止の中、微力な私に、このたび感謝状を頂き、改めて、更生保護女性会の重大さを、認識しておしております。

新型コロナウイルスが、一日でも早く終息する事を願いつつ、会員の方々と共に、この時期に出来る活動を、模索しながら行っている

きたいと思っております。
賞状、記念品、お送り頂き、有り難うございました。



大阪更生保護女性連盟会長

表彰をいただいて

〈更生保護女性会と地域社会との連携〉

東 美幸

地域で活動しておられる更生保護女性会が、どのような活動をしているのかも知らずに「お手伝いしてみない?」とお声がけを頂いて16年経ち現在に至ります。

次世代を担う青少年の健全な成長を願い、非行防止・健全育成並びに地域の子育て支援をし、私の最初の活動は「子育てサロンいきいき」でした。

子供も幼稚園に通っており、活動そのものは日々の生活の延長にプラスした活動でしたが、そこで一緒に活動したみなさんは「人の役に立ちたい」「もっと良い社会にしたい」と、その志で地域の活動に取り組みされている方ばかりでした。

この活動を通して、たくさんの事を経験させて頂きました。子育てサロン、会食ボランティア、社会を明るくする運動、薬物乱用防止教室、堺市にある宝珠園の食事作り、地域のイベント、そして何よりの忘れられないのは大阪阪南市にある和泉学園のお誕生日会訪問でした。お誕生日ケーキと一緒に食べながら楽しい時間を過ごしました。最後はお母さんへの手紙を読んでもくれました。そこに座っている青年たちは、私の子供と同じ年ごろで、まだまだ、幼心を持った彼らでしたがその場にいた私は大泣きをしてしまい、ただただ健全育成を願うばかりでした。これからも、地域づくりの一翼を担えるように、諸先輩方のご指導を頂きながら努めてまいりますので、よろしくお願いします。

社会を明るくする運動 街頭啓発に参加して

粉浜地区

江川 千鶴子

10月6日(火)社会を明るくする運動の街頭啓発に参加しました。コロナ禍の中、感染予防のため啓発物品を配布する全員が手袋着用。皆さん気持ちよく受け取ってくれました。知人から社明運動について聞かれ(犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラを広げ高めていくための運動(会報

第63号掲載)と説明しました。終了後会員全員で、新型コロナウイルスに負けるな!と区がチャレンジしている皆さんの折紙を折りました。11月28日すみのえ舞昆ホールにて折紙で最大の言葉「世界一のメッセージ」が作成されます。

一日研修会(和歌山)

住吉川地区

良知 恵美子

好天に恵まれた12月9日、40名の参加者に乗せたバス是和歌山方面に向けて出発。行程の便宜上、よつてで新鮮野菜の買物をし、関西の日光とも呼ばれる徳川家ゆかりの神社へ。108段の石段を上ると紀州東照宮へ到着、参拝を済ませてから昼食場所へ移動。

広大な敷地に四季の草花が賑わう「がんこ六三園」にて美味しい食事を頂いて、和歌山刑務所への見学となる。

当所は、大阪管内の女子受刑者を収容する施設で、外国人の収容もある。全国に75施設あるが、65歳以上や女子収容率も増加傾向にあるという。矯正処遇の中で作業や様々な訓練を通して再犯防止や社会復帰支援に向けて矯正指導が行われている。作業場にミシンの並ぶ部屋があったが、女子受刑者の事を考えた特長ある更生施設だ



和歌山刑務所正面玄関にて



若田看守長による講義

と思った。更生には規律秩序を維持しつつ受刑者の生活等を指導する刑務官と、心理学・教育学・社会学など知識ある専門スタッフが関わり実施している。社会復帰の取組みを学ぶ大変良い機会であった。

新理事になって

平林地区

林 澄子

更生保護女性会の理事を引き受けましたが、活動内容をよく理解してない部分があり、前任理事吉川さんに助言を頂きながら一歩ずつ進んでいけたらと思っています。地域の活動では部会を意識することなく、一ボランティアとして活動しています。その中で宝珠園の食事サービスですが、宝珠園におられる人を思いながら献立考えての作業は楽しいものとなっています。今年はコロナウイルスで全ての事業が中止になり、先が見えない今地域の子供達を孤独にないがちな若いママ達を心配しています。6月から小学校区の登校の見守りが始まり少しほっとしています。

コロナ禍の中何が出来るか分かりませんが、新任理事として頑張りたいと思っています。

新会員になって

櫻井 富美子

一昨年前今は亡き神谷幸子さんより「更生保護女性会」への入会のお誘いをお受け致しました。未熟な私ですが、自分なりに一



清江小学校多目的室

清江地区

伊藤 聡子

現在清江地区で、未就学児の子

清江子育て応援講習会

こっこ

生懸命にさせて頂きます。
これからみなさんに色々とお教えいただいて思っていた矢先コロナで色んな行事が中止になり、はつきりと分らないままですが今迄知らなかった世界で、昨年和歌山県の女子刑務所の見学をして感銘をうけました。先輩の方々、地域の役員様のお手伝いをさせて頂いただけばと思いますので、皆様よろしくご指導お願いします。

育てをしている保護者が、安心して日々の育児ができるよう、講習会を奇数月の第3金曜日に開催することにしました。

更生保護女性会、地域活動、ボランティア等、賛同いただいた方々の力をお借りし、準備を整え、令和2年7月17日(金)に清江小学校多目的室にて、第1回講習会を行うことができました。

第1回目の講習会の内容は、保健師さんをお呼びしての「コロナ感染防止対策」。自由質疑応答の時間では、月齢別の離乳食の作り方等を熱心に聞いていました。最後はお子さんの発育測定を行いました。

これからも子育ての悩みに沿った講習会を考えておりますが、コロナが終息しない中、一度に多くの受講者の入室は避けたいので、パソコンやスマートフォンを使って自宅でも受講できる環境を整えています。

6歳まで保護者が健やかに子どもと関われば、その後の子育ても乗り越えられと信じ、この活動を続けていきたいと思えます。



この一年が
素敵な
年になり
ます
ように

受賞おめでとうございます

令和2年度表彰

近畿地方更生保護委員会

委員長

感謝状 牧野 典代

大阪保護観察所長

感謝状 鎌田 和子

大阪更生保護女性連盟会長

表彰 彰 東 美幸



あとがき

今年は新型コロナウイルス禍の影響で、更女活動予定事業中止が多くなり、紙面的に小さくまとまった編集記事になり残念です。

広報委員として、会員の皆様の活動報告、更女ならではの活動で、発行したいと願っております。

中止事業

○総会

○ブロック研修会

富田みとせ副会長

令和2年8月 享年72才

8月富田みとせ副会長がお亡くなりになりました。いつも元気で前向きな人柄に勇気を頂きました。

更生保護女性会(広報部長)、保護司、町会等ボランティアで活躍しておられた姿が思い出されます。功績を讃え、ご冥福をお祈り申し上げます。



○第55回近畿更生保護女性会員研修協議会

○令和2年度子育て応援イベント

○大阪更生保護女性のつどい

○令和2年度大阪更生保護女性会新会員研修会

○日帰り研修会

が中止となりました。

皆様と共に、早急に新型コロナウイルス終息を祈り、更女活動を会員の皆様と頑張っていきたいと思えます。

広報部

訃報